



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

令和8年6月1日発行

6月号

責任ある個人として、主体的に生きる

校長 井上 美保

6月になりました。季節は夏へと向かい、これから厳しい暑さが続きます。

まず大切にしてほしいのは、健康管理です。こまめな水分補給、十分な睡眠、体調の変化に気付き無理をしないこと。一年生にとっては、本校で迎える初めての夏となります。配布される熱中症対策グッズも積極的に活用しながら、自ら体調管理を徹底する習慣を身に付けてください。

また、この時期は台風やゲリラ豪雨など、風水害にも注意が必要です。

みなさんは、東京都内のさまざまな地域から通ってきています。だからこそ、日頃から天気予報に注意を払い、雨具を適切に使うなど状況に応じて判断し、行動することが大事です。「自分の身は自分で守る」このことは、学校生活にとどまらず、社会で自立して生きていくための基盤となる力です。

さて、本校の「就業技術科」で身に付けるべき力とは何でしょうか。

それは、「与えられた役割の中で、自ら考え、行動し、責任をもってやり遂げる力」です。

本校は、企業への就職を目指した専門的な職業教育を行っています。しかし、それだけではありません。行事の企画・運営、部活動、委員会活動、生徒会活動など、生徒一人一人が学校づくりの担い手として主体的に関わる場面が数多くあります。

一つの活動をつくり上げる過程では、うまくいくこともあれば、思い通りにいかないこともあります。仲間と話し合い、意見の違いに向き合いながら、折り合いをつけていく場面もあるでしょう。どのような状況にあっても自分の役割を自覚し、その行動に責任をもつことです。学校は、単に知識や技術だけを教えているのではありません。大切なのは、日々の学校生活に真剣に向き合い、どう努力を続けていくかということです。

より良い学校は、みなさん一人一人の主体的な取組によってつくられていきます。

「自ら考え、行動し、その行動に責任をもつ」・・・この行動の継続こそが、自分自身の成長につながり、卒業後、自立して生活していくための確かな力となっていくのです。

就労と委員会活動について

主幹教諭 小林 憲生

本校は、卒業後に企業で働くことを目指して学ぶ学校です。学校生活の中では、あいさつや返事、時間を守ること、協力することなど、働くために大切な態度や姿勢を少しずつ身に付けていきます。委員会活動も、その学びを深める大切な取組の一つです。

目的 委員会活動では、自分の役割を知って行動することや、周りの人と力を合わせて取り組むことを学びます。また、学校や学年、クラスのことを考えて動く経験を通して、将来の職場でも大切になる基本的な態度や姿勢を育てていきます。

活動の流れ 本校には 10 の委員会があります。4月に1年生から3年生までが一緒に活動する合同委員会を行い、それぞれの委員会で年間の活動内容や目標を確認します。そして、生徒総会で前年度の活動報告と今年度の活動予定の報告をします。生徒総会のあとは、各学年での委員会活動を行いながら、日々の学校生活の中でそれぞれの役割を果たしていきます。

役割 委員会では、学校生活をよりよくするために、さまざまな仕事を分担して取り組みます。自分に任されたことを最後まで行うこと、相手に分かりやすく伝えること、仲間と協力することなどを、実際の活動を通して学ぶことができます。

育てたい力 委員会活動は、すすんで取り組む力や、人と協力する力、責任をもって続ける力を育てる場でもあります。5月と3月にある合同委員会では、学年の違う仲間と関わりながら、先輩から学んだり、後輩に伝えたりする経験ができます。こうした経験を通して、社会の中で大切になる人との関わり方や、自分の立場に合った行動を学んでいきます。

* 本校の委員会一覧 *

- ・学級委員会 ・給食委員会 ・生活委員会
- ・放送委員会 ・保健委員会 ・広報委員会
- ・美化委員会 ・図書委員会 ・体育委員会
- ・学園祭実行委員



令和8年度 生徒総会